

ミュージカル山陽ありすの家 第29回定期公演

幕末白雪姫伝

夜明けはきつと来るの巻



2025年

11月16日(日)

会場 不二輸送機ホール (厚狭駅新幹線口から徒歩3分)

昼の部 開場12:30 開演13:00

夜の部 開場17:00 開演17:30

チケット 前売券1,500円 当日券1,800円

主催/ミュージカル山陽ありすの家

舞台監督/中戸千恵((有)エフェクト) 音響/廣井政治((有)九州音響システム) 照明/中村 京(Good Light)

舞台美術/末廣大樹 ((株)やの舞台美術)

後援/山陽小野田市 山口県教育委員会 宇部市教育委員会 下関教育委員会 美祢市教育委員会 山陽小野田市文化協会

毎日新聞社 朝日新聞社 宇部日報社 FMスマイルウェーブ FMきらら FMAQUA FMYエフエム山口

KRY山口放送 TYSテレビ山口 yab山口朝日放送

プレイガイド/不二輸送機ホール 宇部市文化創造財団 フジグラン宇部

お問い合わせ先/ミュージカル山陽ありすの家事務局: 090-8242-0343

ホームページ/<https://musicalsanyo-alices-house1995.jimdofree.com/>





みなさん、あの有名な「鏡よ鏡、世界で1番美しいのは誰？」この言葉から始まるお話といえは白雪姫です。白雪姫の美しさを妬んだ継母の王妃は狩人に頼んで白雪姫を始末しようとしします。しかし心優しい狩人は白雪姫を逃し、森に住む7人の小人たちに救われるというお話のはずでしたが。今回の物語はそんな単純ではありませんよ。癖の強い鏡の精は王妃に嫌気がさして鏡から出てきてしまい、なぜか小人や逃げたはずの白雪姫までお城にやってきて……。小人が持っていたカメラが王妃の怒りを買って、不思議な漢字が浮かんだ鏡が割れて、みんなはその鏡の中に吸い込まれてしまったのです。

そして、なんとそこは幕末の時代。長州の忍者たちが日々お国を守るために修行に励んでいます。国司信濃公、桂小五郎、高杉晋作など維新の原動力となり、日本を動かした長州藩の戦い、幕末維新时期を駆け抜けた長州の志士たちの生き様が繰り広げられます。

あれ、さっきの小人さんや白雪姫はもしかして……。とにかくこの物語は何が起きるかわからない！さあ、あなたもおとぎの国へ、そして幕末へタイムリープしませんか？



答えは当日のパンフレットにあるでござる。



皆のお越しを
あっ待ってるぜ〜！こ
のチラシに忍者は何人
いるか見抜けるかな？

お問い合わせ

ミュージカル山陽ありすの家事務局

090-8242-0343

